

令和4年度 学校評価書（前期）

《学校教育目標》

心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成

〈今年度の重点目標〉

「共感」「規律」を基にした「自己決定力」

～全教育活動での「学び」を軸に～



3年ぶりに生徒、保護者、地域住民で創り上げた「人文字」



令和4年9月6（火）
大館市立北陽中学校



地域の力に！沼館地区災害ボランティア

V 評価

A 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

I 運営・展開

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
「ゆるぎない学校の創造」へ、旅路をともに歩む職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で鍛える振舞いの実践が行われている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	学校と家庭、地域との関係性が良いことが伝わってきた。学校経営の方針が明確で、それが職員・生徒・家庭・地域にも浸透・周知されている。それを具現化するための教職員のシステムも効率的であり、情報共有の手立てもなされている。「チーム北陽」というまとまりが感じられる。地域活動は学校だよりで広報されており地域住民も学校の情報を得ているが、実際には感染防止のため来校できずにいると思う。
年度			
自己評価の概要と学校の改善策	<p>(1)(2)について:これまでの主任会に、新たに指導部長会を加え隔週で実施することによって、組織の縦と横が機能的に連携でき、共通理解・共通実践が進んでいると感じている。今後は、会に頼らず日常的な連携によって組織がより活性化するように意識して運営に努めていく。チーム北陽としてよりスムーズな運営ができるよう、機構や組織については随時見直しを提案したり、意見を求めたりしていく。</p> <p>(3)について:生徒、保護者の数値が大きくダウンしている。昨年度この項目について評価委員からいただいた助言をもとに、地域とのつながりの大切さや活動の意義について力を入れて指導し改善に努めたつもりであったが、このような結果となってしまった。数値の特徴として、3年生に比べて1・2年生の評価が低いことが挙げられるが、これは今回のアンケート全般に見られる傾向であった。各学年の発達段階や実態に合わせ、育てたい生徒像を明確にして事前に生徒にも伝え、実践後は成長ぶりをしっかりと認め保護者へも意識的に発信していく。活動そのものについてもマンネリ化打破のため見直ししていく。</p> <p>(4)について:市費による物品購入や修繕について、校長の助言を受けながら予算を請求して獲得し、計画的に執行している。私費会計も、昨年度の実績や生徒の実情に応じて予算を配分して執行している。いずれも教育活動の効果を高めているという教職員の実感がある。会計処理については、昨年度末のPTA役員による監査結果を踏まえ、学校事務担当者を中心として適正に処理している。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 組織の活性化	(1) チーム北陽の在り方	運営機構や組織の見直しによる活性化	3	
	(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	隔週の指導部長会と主任会による共通理解・共通実践の強化		
2 地域の教育力の活用	(3) 諸通信の発行と地域活動の推進	学校報全戸配布と地域活動推進による地域とのつながり強化	3	
3 適切な予算運用	(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	教育活動の成果を高める予算配分・予算獲得と計画的な執行	4	

[1に関連するデータ]

【アンケート種別】 ○生徒 □保護者 ■教職員
【5段階評価】 5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分

(1) チーム北陽の在り方

- 本校教育目標「心打つ振舞いで自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」の達成度は現在のところどれくらいと感じているか。
 運営機構や組織の見直しによる活性化が図られているか。(R3「やーやー方式」経営戦略ミーティング)

R4前期	R3前期	増減
3.3	3.6	- 0.3
4.1	(3.6)	(+ 0.5)

(2) 校務部及び学年部の効果的な連携

- 隔週の指導部長会と主任会が、共通理解・共通実践につながっているか。(R3 副担任制・主任ランチミーティング)

R4前期	R3前期	増減
4.1	(4.0)	(+ 0.1)

[2に関連するデータ]

(3) 諸通信の発行と地域活動の推進

- 学校報の全戸配布や、防災活動などの地域活動によって、地域とのつながりが深まっているか。
 学校報全戸配布と地域活動の推進によって、地域とのつながりが強化されていると感じるか。(R3 家庭との連携含む)
 学校報全戸配布と地域活動によって、地域とのつながりが強化されているか。(R3 家庭との連携含む)

R4前期	R3前期	増減
4.0	4.6	- 0.6
3.6	(4.1)	(- 0.5)
4.5	(4.4)	(+ 0.1)

[3に関連するデータ]

(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理

- 予算配分・予算獲得と計画的な執行により、教育活動の成果が高まっているか。

R4前期	R3前期	増減
4.2		

ア 学校運営の状況

II 企画・調整

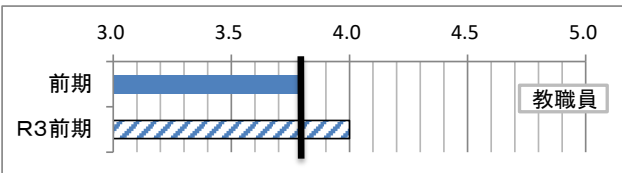
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実態に応じた調整が図られている。	前期	おおむね 良好	良好	生徒のヒアリング、授業の様子を見ても、北陽中が目指すところの「振舞い」が自覚され、実現に向かっている。学校側の意図や思いが十分に生徒に伝わっている。前期は、行事の縮小、部活動の休止など教育活動を自粛せざるを得ない状況もあったと思うが、後期は、北陽中祭等の行事を通して、生徒の活躍、成長ぶりを発信してくれることを期待する。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○(5)に関して、昨年度前期より数値が下がっていた。新しい先生方にも見通しがもてる日課や会議の提案や調整が不十分であったと考えられる。コロナ対応を含めて、誰もが安心して活動できる先を見通した提案を行っていききたい。</p> <p>○(6)に関して、生徒や教職員は高評価であった。生徒の頑張る姿や成長していく姿が伝われば、保護者の評価も上がっていくと考えられる。今後は、学級だけでなく、学年集会や学年通信などを通して、行事のわらいや教師の思い、生徒の頑張りをもちと発信する必要がある。教師の声掛けや仕掛けを工夫し、生徒の内面から揺さぶる取組を行っていき、心動かす学校行事を創っていききたい。</p> <p>○(7)に関して、未だ、学びの土台になる「規律」「共感」における指導が中心となっている段階である。今後は、「見方・考え方を働かせて、自ら深い学びを実現させる生徒の育成」を目指し、学校経営計画に示した共通実践事項の具体について研修する機会を意図的に設定していききたい。</p> <p>○(8)に関して、昨年度までと比較すると、授業と学校生活での学びを往還させようとする教師の意識が感じられた一学期だった。特に、授業や運動会、集会等での3年生の振舞いに、教師のこれまでの指導の成果が現れた。今後は、日々の授業や活動を見合う学美ツアー、研究授業などを通して、生徒の姿を基に教師の指導について振り返る機会を大切に、できていることを価値付けたり、課題を洗い出したりして、次の指導につなげたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 校務アジャストメント	(5)教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理 (6)心を動かす学校行事の工夫	先を見通した早めの全体計画と予定の提示、学校帳簿作成手順の周知と管理 指導部と連携し、心を育てる行事の工夫	3	
5 経営課題のクローズアップ	(7)「深い学び」の共通理解と具体的実践 (8)「学美」の充実	生徒の「？」や「！」を引き出し、学びの深まりや定着、次の学びへとつなぐ教材研究 各指導部との連携による全教育活動での「学美」を意識した指導の工夫	3	

○学校評価アンケートの数値から (○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価[5:大変よい～3:おおむねよい～1:不十分]
(太線は、アンケート項目全体の平均値 ○生徒4.1 □保護者3.5 ■教職員3.8)

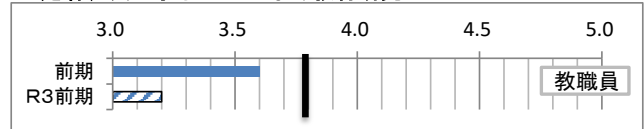
【(5)に関連するデータ】

■教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理



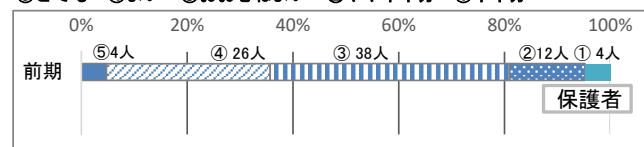
【(7)に関連するデータ】

■生徒の「？」や「！」を引き出し、学びの深まりや定着、次の学びへとつなぐ教材研究

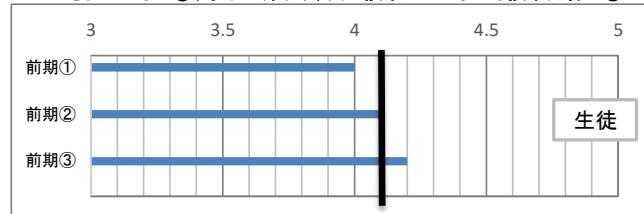


□生徒の「疑問」や「気付き」を引き出す工夫がある授業

⑤とても ④よい ③おおむねよい ②やや不十分 ①不十分

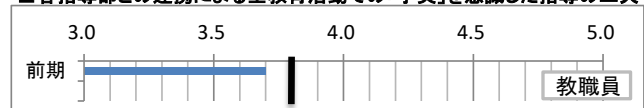


○学びが深まる疑問や驚き、気付きがあるか①、生徒の思いや問いが授業に生かされているか②、学びが深まり、次の授業へとつなげる授業内容か③



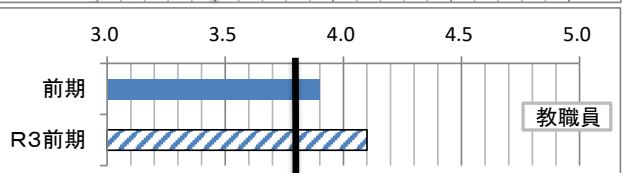
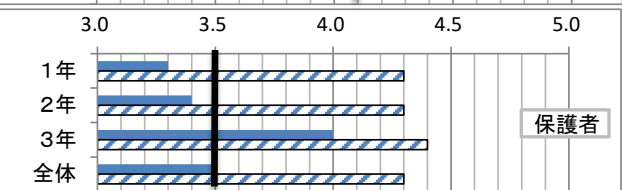
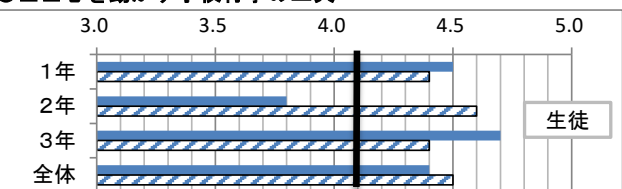
【(8)に関連するデータ】

■各指導部との連携による全教育活動での「学美」を意識した指導の工夫



【(6)に関連するデータ】 上段:前期 下段:R3前期

○□心を動かす学校行事の工夫



イ 生徒の状況

Ⅲ 主体的学習態度・基本的学習習慣

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付ける「学びかた」の指導に努めている。	前期	おおむね 良好	おおむね 良好	基本的な学習習慣が定着しており、学びに向かう姿勢もできている。中学生でも、積極的に挙手し互いの意見に反応できている。今後は、タブレットを現在の北陽中の学びかたにどう効果的に取り入れていくのか、が課題となる。活用しながら、よりよい生かし方を模索してほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○(9)に関しては、生徒の数値は高く職員の数値も昨年度前期よりも高くなっている。日常から先生方が学ぶ意義や必要性を生徒に伝えたり、生徒の関心や意欲を高める仕掛けづくりを行ってきているからだと思う。二学期以降も継続して、興味・関心を高め、学ぶ必要と目的意識を高める仕掛けづくりを行い、生徒の学ぶ意欲を高めていきたい。</p> <p>○(10)に関しては、生徒の問いを生かした学習展開の工夫の数値はまずまずだが、学びの定着を図るまとめと振り返りの職員の数値が低くなっている。ただ、生徒の数値(4.1)を見ると、まとめと振り返りの時間は確保されていることがわかる。二学期からは、学んだことを生活に生かしたり、次の学びにつなげたりするなどの視点を与え、キャリア発達につながる振り返りの中身を充実させていく。</p> <p>○(11)に関しては、生徒・保護者・職員ともに3点台の数値であった。一学期、家庭学習やドリル学習での個の生徒に応じた指導を継続してきたことが生徒の数値(3.7)からうかがうことができるが、生徒の自学力を育成させるには、さらに生徒それぞれに寄り添い支援していく必要がある。二学期は、学年の職員皆でPUNノートの中味を見て、質の向上を促していく。ドリルは生徒の実態に応じたコース設定を行い、スモールステップを生かした定着を図る。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 学びにおける振舞い	(9) 「学びかた」の指導	学ぶ意義や必要性を明確にし、生徒自らが学びに向かう仕掛けづくり	3	
7 学びの定着と深まり	(10) 授業の充実	生徒の問いを生かした学習展開の工夫 学びの定着を図るまとめとキャリア発達を促す振り返り	3	
	(11) 自学力の育成	個に応じた家庭学習や放課後ドリル学習の工夫		

(○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価{5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分}

[6に関連するデータ]

(9) 「学びかた」の指導

○学ぶ意義や必要性を理解して、自らが学びに向かっていますか。
■学ぶ意義や必要性を明確にし、生徒自らが学びに向かう仕掛けづくりがなされているか。

R4前期	R3前期	増減
4.1		
3.6	(3.3)	+0.3

[7に関連するデータ]

(10) 授業の充実

○学びが深まる疑問や驚き、気付きがありますか。
○生徒の問いや疑問が授業に生かされていると感じますか。
□授業では、お子さんの「疑問」や「気付き」を引き出す工夫がされ、力が付いていると感じますか。
■生徒の問いを生かした学習展開が工夫されているか。

R4前期	R3前期	増減
4.0	(4.3)	-0.3
4.1		
3.2		
3.6	(3.2)	+0.4

○まとめと振り返りが実施されていますか。
■学びの定着を図るまとめとキャリア発達を促す振り返りがなされているか。

4.1		
3.3		

(11) 自学力の育成

○家庭学習へのアドバイスやPUNの方法を、先生方は工夫してくれていると感じますか。
□一人一人に応じた家庭学習の仕方を助言したり、放課後のドリル学習の内容や方法を工夫したりしていると感じますか。
■個に応じた家庭学習への助言、放課後ドリル学習の方法、内容等の工夫がされているか。

R4前期	R3前期	増減
3.7		
3.1		
3.4	3.6	-0.2

イ 生徒の状況

IV 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心な生活、健全な日常を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	前期	良好	良好	感染症防止について、養護教諭を中心に委員会活動や生徒の主体性を引き出す指導ができています。クラスターが発生していない状況は、生徒が日常的に感染防止対策を徹底できているからだと思う。生徒指導や安全指導についても、教職員が朝早くから校門や通学路についてしっかり指導しており、生徒も教職員も安全に対する取組がよい。保護者や地域への規範意識や安全意識も学校から発信し啓蒙してほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	(12)について：昨年度、校則について「安心・安全」「地域に誇れる振舞い」という視点から見直しを図る集会を行った。1学期末に、生活向上委員会からアンケートを採り(下記①参照)、おおむね現在の校則通りでよいという結果だった。しかし、徹底できていないところが見られるので、2学期以降は生徒同士による声かけができるよう仕掛けていきたい。また、危機回避能力育成と事故防止対策については、避難訓練や地域防災会議(下記②参照)を通して、自分の命は自分で守る、助けられる人から助けられる人へ、という意識の高揚を図った。			
	(13)について：「北陽ライフスタイル」を各教室に掲示する(下記③参照)と共に、保健委員が帰りの会で説明したり、各委員会ごとの活動計画を確認したりするなど、生徒が主体的に活動できるよう教師がサポート側に回って働きかけることができた。また、集会活動では、ソーシャルディスタンスを取ったり、コロナの感染状況に応じて授業でのグループ活動を制限したりして、教師側からも積極的に呼び掛けを行ってきた。今後も根気強く継続していきたい。			
	(14)について：例年、5月と11月に行ってきた教育相談を、4月にも実施した(下記④参照)。特に、1年生は中学校に入学して間もない頃で、学校生活や友人関係で悩みを抱える時期だと捉え、積極的に生徒理解や問題把握できるようにした。未然防止や早期発見に向けて、日頃から小さなサインを見逃さないことや、些細なことでも全職員で共有できるよう組織的に対応していきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 規律ある学校生活	(12) 安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実 危機回避能力育成と事故防止対策	3	
9 心身の健康の保持増進	(13) 健全な生活習慣の育成	安定した生活習慣と感染症予防対策	4	
10 教育相談の充実	(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり	4	

(○生徒 □保護者 ■教職員)

【8に関連するデータ】

※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分]

(12) 安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導

- 北陽中生自身が「暮らしかた」を見直し、規律ある学校生活の充実がはかられていますか。
- 災害や事故から身を守り、自分の命を自分で守る力が身に付いていますか。
- 安心・安全な生活のための事故防止対策が取られ、お子さんに危機回避能力が育っていると感じますか。
- 生徒によって「暮らしかた」が見直され充実が図られているか。
- 安心・安全な生活のために、生徒の危機回避能力を育成し、事故防止対策が取られているか。

R4前期	R3前期	増減
3.8	4.0	- 0.2
4.2		
3.8		
3.6	3.9	- 0.3
4.1		

【9に関連するデータ】

(13) 健全な生活習慣の育成

- 感染症予防対策を実行し、望ましい生活習慣が身に付いていますか。
- ※前年度(感染予防4.4+マイコンロ3.6)÷2=4.0
- 学校で感染症予防対策が取られ、お子さんに安定した生活習慣が身に付いていると感じますか。
- 前年度(感染予防3.9+生活習慣4.1)÷2=4.0
- 健全な生活習慣の育成のために安定した生活習慣の確立と、感染症予防対策が取られているか。
- ※前年度(生活習慣2.8+感染症予防4.1)÷2=3.5

R4前期	R3前期	増減
4.1	4.0	+ 0.1
4.0	4.0	± 0.0
4.3	3.5	+ 0.8

【10に関連するデータ】

(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解

- 教育相談やカウンセリングなどで、先生は親身になって対応してくれますか。
- ※前年度(相談の雰囲気4.2+対応4.4)÷2=4.3
- 多面的な生徒理解と、組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくりがなされているか。

R4前期	R3前期	増減
4.2	4.3	- 0.1
3.9	4.0	- 0.1

①校則見直しアンケート(上) ②地域防災会議(下)

1学期の生活を振り返って 3年 2組 名前 前谷 展亮

私もなく1学期を終えようとしています。1学期の生活を振り返り、学校のまわりを守ることができていたが、「自分」「クラス」「学校全体」の視点で考えよう。それが、自分をめ、その人たちの注意不足なのであれば、すぐにでも改善できるというですね。もし、「まわり」そのものを改善した方がよいのであれば、全校で考えていく必要があります。みなさんは、どう思いますか？

身の回りの学校のまわりを守ることにできたのが良かった。下でよく改善してほしいです。また、先生が、手元の校則を見直しているのを見て、私も改善したいと思いました。



③北陽ライフスタイル(校内掲示用)

北陽 ライフスタイル

みんなで乗り越えよう!

おうちでは...

このポスターは、生徒が日常生活の中で実践すべき行動をイラストとテキストで示しています。例えば、マスクの着用、手洗いの徹底、人混みを避けることなどが挙げられています。

④教育相談アンケート(4月実施)

教育相談アンケート① 4月版

年 組 番 氏名()

連絡・入学してから約3週間が経ちました。新しい生活に少しずつ慣れてきていますか。このアンケートは、みなさんがこれからの生活をよりよいものにするために行うものです。どんな小さなことでも構いません。真面目に回答しましょう。情報は厳守します。

1. 学習について悩んでいることや、困っていることはありますか。(※お答えください)

① 悩んでいる(困っている) ② 悩んでいる(困っていない)

↓

どんなことに悩んでいますか(困っていますか)。(授業?家庭学習?等?)

2. 学校生活について悩んでいることや、困っていることはありますか。

① 悩んでいる(困っている) ② 悩んでいる(困っていない)

↓

どんなことに悩んでいますか(困っていますか)。(友達のこと?部活動のこと?)

3. その他、悩んでいることや困っていることはありますか。(体調のこと?家庭?進路?スマホ?等?)

4. 学校生活以外の先生に相談したいことはありますか。()先生に相談したい! 悩んでいることをお話ししたいです。

アンケートに回答していただき、ありがとうございます。先生方はいつでもみなさんの相談に乗ります。気軽に声をかけてください。

イ 生徒の状況

Ⅶ 思いやりの心、たくましい心

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
居心地のよい集団を実現する「集いかた」の指導、仲間と心をつにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	前期	おおむね良好	良好
	年度		
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○(15)に関しては、学級の短学活で日直がスピーチをし、それに対して質問や反応したり、学年で班対抗のクイズをしたりして、個のよさが発揮できる場面を設定している。また、生徒の自発的な行為を紹介する「ちよいボラ」発表などでお互いのよさを認め合う場面を意図的に設定した。</p> <p>○(16)に関しては、全体的に見ると生徒それぞれが創意工夫を凝らし、それを教師がサポートする形で行っていたが、責任をもって行う人とそうでない人の差が大きかったため、その差をなくす工夫を考えたい。</p> <p>○(17)に関しては、運動会で、各学級の中で上手に役割分担がなされ、各リーダーを中心に全力で向かうことができた。二学期の合唱コンクールや北陽中祭に向けて、プレ発表会やF集会などでねらいや学級の目指す姿を話し合わせて行事に向かわせていきたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 より良い集団生活を旨とする学級・学年活動	(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	3	
12 集団力を高める自主的・自立的諸活動	(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	3	
	(17) 仲間と心をつにし、目標に向かう「挑みかた」の指導	三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛け		

(○生徒 □保護者 ■教職員)

[11に関連するデータ] ※5段階評価{5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分}

(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	R4前期	R4年度	R3前期	増減
○個のよさが発揮されるような学級活動が行われていましたか。	4		4.4	-0.4
■共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践に努め、個のよさが発揮されていたか。	3.6		3.7	-0.1

[12に関連するデータ]

(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	R4前期	R4年度	R3前期	増減
○集団力を高めるような、創意ある生徒会活動が行われていましたか。	4		/	/
□生徒会活動は、集団力を高めるような創意ある活動になっていますか。	3.6		3.9	-0.3
■学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動が行われているか。	3.8		3.7	0.1

(17) 仲間と心をつにし、目標に向かう「挑みかた」の指導

	R4前期	R4年度	R3前期	増減
○運動会では、仲間と心をつにして目標に向かって取り組み、感動や達成感を味わえましたか。	4.4		/	/
□学校行事では、生徒の目の色を変える仕掛けがなされ、心を育てる工夫がされていますか。	3.5		/	/
■三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛けがなされているか。	4.1		4.1	0



学級討議～先輩が1年生にアドバイス～



学級旗制作



全力で総体に向かうための激励会



吹奏楽部と学芸部による応援ツアー